



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月4日

上場会社名 荏原実業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6328 URL <https://www.ejk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 兼 COO (氏名) 阿部 亨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 総合企画室長 (氏名) 大野 周司

TEL 03-5565-2885

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	21,933	1.7	2,298	39.1	2,409	37.3	1,685	36.0
2019年12月期第3四半期	21,556	0.6	1,652	9.2	1,755	7.7	1,239	7.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,628百万円 (9.1%) 2019年12月期第3四半期 1,791百万円 (39.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	264.85	
2019年12月期第3四半期	187.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	28,703	15,616	54.4
2019年12月期	28,065	14,945	53.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 15,616百万円 2019年12月期 14,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		30.00		30.00	60.00
2020年12月期		30.00			
2020年12月期(予想)				70.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	5.5	2,800	38.3	2,950	36.0	2,000	32.2	318.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	6,715,000 株	2019年12月期	6,715,000 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	430,442 株	2019年12月期	122,867 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	6,365,113 株	2019年12月期3Q	6,592,133 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、経済活動が大きく制限を受け、景況感は急速に悪化しました。緊急事態宣言の解除により、経済活動は回復に向けて動き始めたものの、感染症の収束時期は依然として見通せず、景気の先行きは全く予断を許さない状況が続いております。

当社を取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では、上下水道関連設備の更新・改修・機能強化、災害対策などの需要が堅調に推移したものの、民間分野では、景気の先行きの不透明感から、一部に設備投資需要の停滞も見られております。

このような事業環境の下、当社グループは、企業価値の向上を目指し、以下の戦略に取り組んでおります。

- ① 「環境関連」を成長の核とするために、事業領域の拡大とニッチ戦略を進める。
 - a. 新製品の投入

ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）に続き、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の取り組みを強化
 - b. 現有製品群のブラッシュアップ

実績のある製品は利益を重視
「高度処理」「省エネ」「AI/IOT」「環境負荷軽減」「安全安心」のニーズに対応する形で競争力を強化
 - c. メンテナンス・サービスの強化

アフターサービスを充実させ、外部環境に左右されない収益基盤として育成
- ② 顧客軸・製品軸の両面から、事業領域の開拓を進める。
 - a. 選別受注、積算技術の向上、原価意識の徹底
 - b. 実績の少ないエリアでの受注活動強化
 - c. 防災需要への対応
- ③ 既存の収益基盤を着実に強化する。
 - a. ゼネコン・サブコン・メーカーとの連携強化
 - b. 多様な顧客層へのアプローチ

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は260億12百万円（前年同期比31.5%増）、売上高は219億33百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は22億98百万円（前年同期比39.1%増）、経常利益は24億9百万円（前年同期比37.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億85百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(環境関連)

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントの受注高は、蓄電池等のZEB関連製品の増加により省エネ・創エネ分野が増加し、また、新型コロナウイルス感染症拡大を受け陰圧装置等の医療関連製品が増加したことによって、セグメント全体では前年同期比108.2%増の66億98百万円となりました。売上高は、水処理プラント分野の水景案件、医療関連製品等が増加し、前年同期比20.6%増の45億15百万円となりました。セグメント利益も売上高の増加に伴い、前年同期比22.9%増となる6億6百万円となりました。

(水処理関連)

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントの受注高は、上下水道設備の更新案件の増加に加え、防災案件も増加し前年同期比48.7%増の122億92百万円となりました。売上高は、受注高の増加によって、前年同期比5.9%増の101億41百万円となり、セグメント利益も売上高の増加及び売上総利益率の上昇により、前年同期比48.7%増となる15億15百万円となりました。

(風水力冷熱機器等関連)

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントでは、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が制限され、案件の進捗に遅れが出ているとともに、一部に設備投資需要の停滞も見られております。受注高は前年同期比15.3%減の70億21百万円となり、売上高も前年同期比11.7%減の72億77百万円となりました。しかし、セグメント利益は、売上総利益率の上昇やセグメント共通販売費及び一般管理費の負担減少等によって、前年同期比13.4%増の7億82百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
環境関連	6,698	208.2	5,211	211.0
水処理関連	12,292	148.7	13,566	128.2
風水力冷熱機器等関連	7,021	84.7	4,279	98.1
合計	26,012	131.5	23,057	132.4

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億37百万円増加し、287億3百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加31億58百万円、受取手形及び売掛金の減少25億16百万円、たな卸資産の増加53百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、130億86百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少10億32百万円、前受金の増加8億51百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億71百万円増加し、156億16百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益16億85百万円の計上及び剰余金の配当3億86百万円等であります。この結果、自己資本比率は54.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月通期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2020年2月13日付「2019年12月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想及び配当予想から変更しております。詳細につきましては、本日2020年11月4日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,408	9,566
受取手形及び売掛金	10,167	7,651
商品及び製品	541	643
仕掛品	195	227
未成工事支出金	647	440
原材料及び貯蔵品	210	337
その他	150	191
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	18,321	19,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,172	3,205
減価償却累計額	△1,767	△1,834
建物及び構築物 (純額)	1,405	1,370
機械装置及び運搬具	191	195
減価償却累計額	△110	△130
機械装置及び運搬具 (純額)	80	64
工具、器具及び備品	631	637
減価償却累計額	△543	△566
工具、器具及び備品 (純額)	87	70
土地	1,360	1,360
その他	3	3
減価償却累計額	△3	△3
その他 (純額)	-	-
有形固定資産合計	2,934	2,866
無形固定資産	154	135
投資その他の資産		
投資有価証券	5,087	5,081
保険積立金	727	731
投資不動産 (純額)	679	669
繰延税金資産	14	20
その他	253	245
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	6,655	6,642
固定資産合計	9,744	9,645
資産合計	28,065	28,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,397	7,365
短期借入金	1,090	1,090
未払法人税等	381	507
未払消費税等	136	212
前受金	1,056	1,908
賞与引当金	-	205
工事損失引当金	112	174
その他	570	349
流動負債合計	11,746	11,812
固定負債		
繰延税金負債	977	862
役員退職慰労引当金	158	158
退職給付に係る負債	153	176
その他	83	75
固定負債合計	1,374	1,273
負債合計	13,120	13,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	831	831
利益剰余金	10,996	12,295
自己株式	△291	△861
株主資本合計	12,538	13,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,451	2,381
退職給付に係る調整累計額	△44	△31
その他の包括利益累計額合計	2,407	2,350
純資産合計	14,945	15,616
負債純資産合計	28,065	28,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	21,556	21,933
売上原価	15,789	15,419
売上総利益	5,767	6,514
販売費及び一般管理費	4,115	4,215
営業利益	1,652	2,298
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	54	57
投資不動産賃貸料	74	72
その他	21	21
営業外収益合計	153	153
営業外費用		
支払利息	6	4
不動産賃貸費用	29	28
保険解約損	9	0
その他	5	8
営業外費用合計	50	41
経常利益	1,755	2,409
特別損失		
投資有価証券評価損	-	31
特別損失合計	-	31
税金等調整前四半期純利益	1,755	2,378
法人税、住民税及び事業税	586	788
法人税等調整額	△70	△95
法人税等合計	515	692
四半期純利益	1,239	1,685
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,239	1,685

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,239	1,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	539	△70
退職給付に係る調整額	13	12
その他の包括利益合計	552	△57
四半期包括利益	1,791	1,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,791	1,628
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式250,000株の取得を行いました。また、2020年3月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式57,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が570百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末において自己株式が861百万円となっております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年10月20日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議いたしました。

1. 設立の目的

当社は、新事業の創出及び新製品開発を推進する施策の一つとして、今般、蓄電池及び蓄電設備の企画、製造及び販売等を手掛ける子会社を設立することとしました。

本子会社の設立により、今後の事業展開を加速するとともに、事業へ専念できる環境の整備を実現します。

2. 設立する子会社の概要

(1) 名 称	荏原実業パワー株式会社
(2) 所 在 地	千葉県木更津市かずさ鎌足三丁目5番地1
(3) 代 表 者	代表取締役社長 蔵見 義晴
(4) 事 業 の 内 容	蓄電池及び蓄電設備の企画、製造及び販売等
(5) 資 本 金	100百万円
(6) 設 立 の 時 期	2020年12月 (予定)
(7) 出 資 比 率	当社100%

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	3,744	9,572	8,239	21,556	-	21,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,744	9,572	8,239	21,556	-	21,556
セグメント利益	493	1,019	690	2,202	△550	1,652

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	4,515	10,141	7,277	21,933	-	21,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,515	10,141	7,277	21,933	-	21,933
セグメント利益	606	1,515	782	2,904	△605	2,298

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。